

こころ育てる絵本との出会い

マカちゃん通信

2013 10 - 11 vol. 22

絵本原画展

山本 孝

特集

子育てと絵本



絵本作家インタビュー

やまもと たかし
山本 孝

ぼくが描くのは「男子絵本」
お父さんが参加してくれるような
テーマで、ストーリーを作りたい。
絵本の中で遊んでください！



山本 孝(やまもと たかし)プロフィール

1972年愛媛県松山市に生まれる。大阪デザイナー専門学校編集デザインコース絵本科卒。
「あとさき塾」「メリーゴーランド絵本塾」で絵本を学ぶ。
作品に『十二支のおはなし』『ちゃんがら町』(岩崎書店)『雪窓』『本所ななふしぎ』(偕成社)
『むしプロ』『カイジュウゴッコ』(教育画劇)『ぬ〜くぬく』(農文協)『祇園精舎』『アブナイかえり
みち』(ほるぶ出版)『にんじゃつばめ丸』(ブロンズ新社)『えかきのチャーリーひみつのかべ』
(イースト・プレス)『いっすんぼうし』(あかね書房)などがある。

山本 孝ホームページ <http://yotsubaya.petit.cc/>

絵本原画展開催

平成25年9月28日(土)~11月28日(木)



「カイジュウゴッコ」
(教育画劇)
きょうもいつものカイジュウゴッコ。
おれがデスキラスでおまえがロボ
ガロン。おととつとつとつかつのは
おれさまだ。



「アブナイかえりみち」
(ほるぶ出版)
かえりみちは、キケンがいっぱい。
「ほうかごスベシャルたんけんたい」
になってたんけんするぞ。

原画展示絵本

秋のギャラリでは、元気な男の子たちの妄想絵本『アブナイかえりみち』、『カイジュウゴッコ』をご紹介します。

山本 孝先生にインタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

高校2年の時に、図書館にあった『はせがわくんきらいや』(長谷川集平/作 温羅書房)を読んだのがきっかけでした。「こんな絵本があるんや!」と驚き、絵本に興味を持ちました。

画材は何を使っていますか?

リキテックスというアクリル絵の具を使っています。紙はワトソン紙です。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『カイジュウゴッコ』は僕たちが実際にしていた遊びです。下校の途中、お互いがい思いのカイジュウになって、ひたすら戦う。戦っているうちに、お互いのカイジュウがどんどんパワーアップしていつか結局、どちらも強くなり過ぎてしまつて、勝負がつかないまま家に着いてしまつて…ただそれだけのおバカな遊びです(笑)。でも、そんなおバカな遊びをどうしても絵本にしてみたくつたんです。

『アブナイかえりみち』も僕たちの中で流行った「探検隊ごっこ」がモチーフになっています。小学生の時にテレビで見た水曜スペシャル「川口浩探検隊」(テレビ朝日)がきっかけでした。川口隊長率いる探検隊が毎回ジャングルや洞窟など様々な危険な場所に分け入り、幻の場所、部族、生き物財宝などを追い求める…。

当時田んぼに囲まれた田舎でボウッと暮らしていた小学生男子にはその世界はとても刺激に満ちたものでした。そして、その後すぐ「探検隊ごっこブーム」がやってきたのです。僕たちは探検隊になりきつて、学校からの帰り道を探検しました。ブロック塀が断崖に、用水路は肉食魚が潜む激流に…僕たちの頭のなかでいつもの帰り道が、どんどんアブナイ場所に変わっていききました。そんなおバカな男子達の、アブナイ妄想世界をどうしても絵本にしたかつたんです。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は?

『十二支のおはなし』です。僕のデビュー作で、内田麟太郎さんとの出会いの作品です。ここから内田さんとの行事絵本シリーズがはじまりました。そして昨年「かっぱのこいのぼり」という作品で無事12冊のシリーズが完了しました。10年かかりました。



『十二支のおはなし』(内田麟太郎/文 岩崎書店)

絵本をお作りになるときのこだわりは?

「男子絵本」というジャンルを勝手に作っています!

以前『むしプロ』という作品を作った時に「お父さんがいっしょに読み聞かせしてくれました!」という感想を数多く聞きました。その時「じゃあもつとお父さんが読み

聞かせに参加しやすい絵本をつくってみよう!」という思いが生まれました。なので、できるだけ「お父さん」が読み聞かせに参加してくれるようなテーマ、ストーリーを作っています。読んで後に「お父さんも子どもの頃こんな遊びしたぞ!」なんて話しが広がればとても嬉しいです。

絵本を通じてお伝えになりたいことは?

絵本は「遊び場」だと思っています。なので絵本の中で思いっきり遊んでくれたら嬉しいです!

今後どのような絵本を描いていかれますか? 男子絵本です!!

ご興味についてお聞かせください。

釣り、磯遊び、川遊び、水族館めぐりなどです。

好きな言葉を教えてください。

「またあした」です。子どもの頃、何度もの言葉を言って友達と別れました。子どもたちにとって「遊び」はずっと続いていて、それをちゃんと続けるための大切な言葉なんだろうと思います。

ファンの方へメッセージをお願いします。

これからも「男子絵本」を描き続けます! よろしくお祈りします!!

山本 孝先生、ありがとうございました!

山本 孝先生サイン入りの絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
あて先 山本 孝サイン本プレゼント係
締め切り 平成25年11月10日 消印有効
※発表は発送をもって代えさせていただきます。



『カイジュウゴッコ』(教育画劇)



特集 / 子育てと絵本



土田 陽一
射水市大島絵本館 事務局長

読み聞かせの面白さ

我が家の子どもたちと絵本を読んで楽しむ時間に落語絵本を選ぶ時期がありました。川端誠さんの落語絵本シリーズから『はつてんじん』『そばせい』『まんじゅうこわい』など、ストーリーの間や呼吸、テンポそしてオチなどが子どもたちにとって、とても楽しいのか、何度も読んでくれとせがまれたものです。

*

子どもたちは絵本のストーリーの中に入り込み、言葉の中を漂う気持ちよさを感じているようでした。本物の落語では噺家が言葉で演じます。落語絵本では絵が描かれているため、言葉だけでなくその場の雰囲気がいっしょに子どもたちに伝わっているのではないかと感じます。落語には最後にオチがあります。話が最高潮になったところで、聞き手をポンと違うところへ放り込んで、おしまいにしてしまいます。落語絵本はやはり話のオチがあることで子どもたちの心に強く印象づけられるのではないかと感じました。それぞれのストーリーによってオチもさまざまあります。この落語絵本シリーズは現在15作品が

出版されています。親子でお気に入りの作品を見つけていただけたらと思います。

*

絵本は自分で言葉がしゃべれない子どもでも面白さを感じ取ると、その本が気に入りになります。何回も読んでくれとおねだりしてきます。親子のふれあい、そして子どもは親から愛を受け取っていると感じます。絵本を読むことによって、わくわくした気分になったり、気持ちがなごんだり、楽しかったり、悲しかったり、ページをめくっていくことによって、いろいろな気持ちを体験することができます。こうして絵本は子どもたちを様々な場所に連れていき、様々な感情を経験させてくれる。絵本を読んであげるとは、子どもの未来に語りかける、すばらしい教育だと思います。

*

絵本館を訪れてくれている親子連れもライブラリーで楽しそうに絵本を読んでいただいている姿がとても印象的でこの時間をいつまでも大切にしたいと願っています。

私のおすすめ絵本

『十二支のお節料理』

川端 誠/作
(BL出版)
お正月の準備を干支によって役割を決めて作業していきます。



落語絵本9 『そばせい』

川端 誠/作
(クレヨンハウス)
盛りそばを何枚食べれるか、賭けをした清さんは、旅先でよい薬草を見つけます。



落語絵本3 『はつてんじん』

川端 誠/作
(クレヨンハウス)
おとうさんと息子のきんぼうの親子のやりとりがとても楽しい絵本です。



『かばんうりのガラゴ』

島田ゆか/作
(文楽堂)
ガラゴは旅するかばん屋さん、お客さんによって色々なかばんがでできます。



『うらしまたろう』

松谷みよ子/作
いわさきちひろ/絵
(偕成社)
日本の昔話をいわさきちひろさんの美しい絵がひきかえています。



『ぼくがラーメンたべてるとき』

長谷川義史/作
(教育画劇)
ぼくがラーメンたべてるとき、色々なところで色々なことが起きています。

